

科目コード	N308
授業科目名	老年看護学実習
授業科目名(英文)	Clinical Practice in Gerontological Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	3年・4年
開講学期	後学期・前学期
必修・選択の別	必修
単位数	2・2
時間数	90・90
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-4、○看CP-7、△看CP-9
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	立野 淳子
授業の概要	<p>加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化や老年期特有の疾患などにより生活機能障害をきたしている高齢者との関わりを通して、対象理解、生活の場の理解、さらに対象者の生活の場に応じた看護の方法や役割について学習を深める。また、高齢者のもつ個別性に応じた看護実践のためには、対象者の生活史や強みを見出し、ケアにつなげていくことが基盤となることも学んでいく。</p> <p>老年看護学実習は4単位180時間で構成される。3年次は認知症高齢者への生活の場における看護を学修する。4年次は健康レベルや家族背景の違いにより介護施設を利用しながら生活する高齢者の理解と看護の役割、さらに地域における高齢者同士の交流を促進するための看護について、2つの実習構成にて学習を行う。</p>
授業の到達目標 (学修効果)	<p><認知症高齢者グループホーム・特別養護老人ホーム実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の加齢や疾病の特徴と生活について説明できる 2. 生活行動モデルをもとに高齢者の生活機能を整えるための援助ができる 3. 高齢者への看護の基盤となる姿勢・態度を身につけることができる 4. 看護者としての役割・責任・行動を認識し、自己の課題を明らかにできる <p><通所・入所施設・小規模多機能施設における実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者が介護施設を利用することの意義と課題を説明できる 2. 介護施設において高齢者を支援する看護職の役割と多職種連携について説明できる 3. 健康レベルの異なる高齢者同士の交流を促進するための支援について説明できる 4. 共同学習のために主体的に自己の役割を果たすことができる
予習復習の所要時間	実習時間180時間
成績評価方法	ループリック評価(100%)で60点以上を合格とする。
教科書	北川公子他著「系統看護学講座専門分野 老年看護学」第9版 2023年版(医学書院)(老年看護学概論と同じ)
参考書	山田律子著「生活機能からみた 老年看護過程 +病態・生活機能関連図 第4版」2020年(医学書院)
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	(認知症高齢者グループホーム・特別養護老人ホーム) 1日目：学内オリエンテーション 2日目：臨地オリエンテーション 3～4日目：臨地実習 5日目：臨地実習、臨地カンファレンス	・実習の手引きによるオリエンテーション ・技術演習 ・受け持ち対象を受け持ち、実習を行う ・コミュニケーション ・アセスメント	
2	第2週目	(認知症高齢者グループホーム・特別養護老人ホーム) 1～2日目：臨地実習 3日目：臨地実習、臨地カンファレンス 4日目：学内カンファレンス 5日目：学内カンファレンス、記録提出	・受け持ち対象を受け持ち、実習を行う ・グループワーク ・プレゼンテーション ・ディスカッション	
3	第3週目	(通所・入所施設) 1日目：学内オリエンテーション 2～4日目：臨地オリエンテーション・臨地実習 5日目：学習の共有発表会・記録提出	・実習の手引きによるオリエンテーション ・通所・入所施設実習 ・コミュニケーション ・アセスメント ・グループワーク ・プレゼンテーション ・ディスカッション	
4	第4週目	(小規模多機能施設) 1日目：学内オリエンテーション 2～3日目：地域交流企画準備 4日目：臨地実習 5日目：学習の共有発表会・記録提出	・実習の手引きによるオリエンテーション ・グループワーク ・地域交流企画の実施 ・プレゼンテーション ・ディスカッション	